



夏期講座で力をのばす！

①定期試験の反省をし、

次の目標をたてる

- (1) もちろん点数は大切だが、間違えた問題をもう一度ノートに解き直しておく。
- (2) ・ワークの解き直しが足りなかった
・用語を忘れてしまった
・記号で答えるところを言葉で書いてしまった
・時間切れになってしまった
など、各自反省するところがあったはず。
- (3) 問題がどこから出されているかをチェックする。
・授業中のプリント
・ワーク
・教科書の問題
・先生が授業中話していたこと
学校ごと先生ごとに、問題の傾向は違っています。自分がやってきたこととずれていたかもしれませんね。
- (4) 各科目ごとに、「反省点と次はココに注意し、何点とる！」といったことを紙に書き、勉強する場所に貼っておく。

数学 見直し
ワーク3回やる
90点とる

②夏休み明けの定期試験に向けて

勉強を開始せよ

学校のワークや、「iワーク」、「iワークプラス」の復習をはじめよ。前期中間の範囲も含めて復習しておくこと。

中学1・2年 夏期講座

7月3・4週目は夏期プレ講座

ここから夏期講座は始まります。1学期にやったことの総復習です。5教科に取り組みます。ジーニヤストレーニングも行います。

8月は夏期講座です

お盆前は、プレ講座に引き続き1学期にやった内容の総復習です。お盆明けは、定期試験対策・休み明けの実力テスト対策授業です。

ジーニヤスト、第1回桃李模試もある。



中学3年 夏期講座

全25日間の2ステップアップの夏期講座です。

7月3・4週目は夏期プレ講座

7月3・4週目は、岐阜新聞学力テストの過去問演習と中学1・2年の総復習を行う。

「夏特」という5教科の復習教材も家庭学習でやってもらいます。



8月は、夏期講座です

お盆前は、中学1・2年の総復習+3年1学期の総復習です。お盆明けは、休み明けの前期末試験対策と実力テスト対策です。

第2回桃李模試で実戦力をつけます。

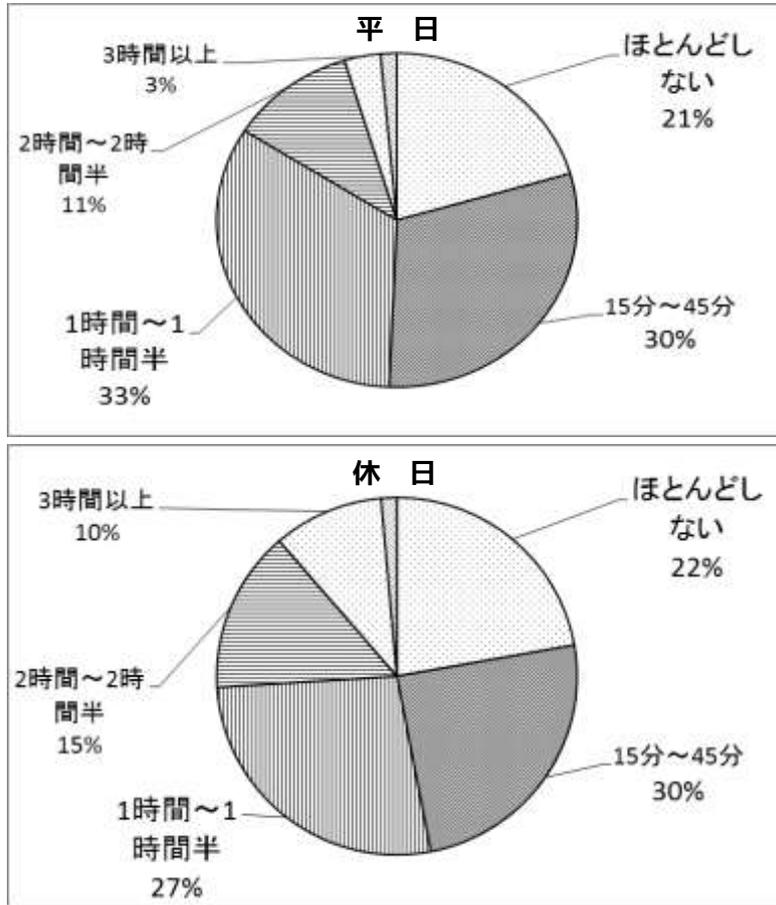
8月 英数徹底強化特訓

8月6・12・16・20日の4日間、4h×4=16時間の英語・数学の苦手単元克服のための授業です。長期休みにしかできない、長時間の単元克服ゼミです。同封の申込書に費用を添えて申し込んでください。

前期父母会にご参加いただきありがとうございました

この夏休みに勉強の習慣をつける

中学生の家庭学習時間(子供生活実態基本調査)



左のグラフは、中学生の家庭学習時間の調査結果です。1時間未満の生徒が約半数を占めています。たとえどんなに「地頭」がよくても、家庭学習の習慣が身につけていなければ、いずれ実力の伸びは頭打ちになるものです。

学んだことを理解し、自分の実力として積み上げていくには、家庭学習の習慣を身につけることは欠かせません。この夏休みこそ、家庭学習の習慣づけができる機会です。今を逃すと2学期以降も同じ状態が続いてしまいます。

時間の融通がきく夏休みを利用して、時間帯を決め、毎日継続して学習をするようにしたいものです。継続できてきたら、夏休み明けにも同じように学習を続け、生活の一部になるまで徹底しましょう。これができれば、学力向上は約束されるのです。

生活のリズムを整えて生活しましょう

●インターネット、SNS、ゲーム
長時間のインターネット利用やSNSの使用は、眼の疲れやだるさをもよおします。また、夜寝る前のこれらの使用は、光の刺激による覚醒を助長することにつながります。そして、これら自体が夜更かしの大きな原因になります。

●テレビ、ビデオなどの視聴
インターネットやSNS、ゲームなどと同じく、テレビの視聴時間も夏休みは

延びる傾向にあります。また、学校があるときには観られない深夜の時間帯の番組を視聴することなども、夜更かしの原因になっています。

●部活動
夏休みは、部活動の時間も長くなる傾向にあります。疲れて帰宅し、早く就寝することも増えるようです。それ自体は悪いことではありませんが、疲れのために起きられず、学習時間を確保できないことも。また、疲れがたま

って夏バテをひき起こす事例もあります。

●運動不足
暑いからといって、冷房の効いた部屋の中であまり体を動かさずに一日中過ごす、疲労感がないために眠りにくい状態になります。そのまま起きていて、次第に生活時間がずれ、夜型の生活サイクルになってしまいます。

規則正しい生活を心がけて下さい。

